

事前評価書

1 事業名 通常砂防事業	地区名・路線名等 ともえがわだい しせん 巴川 第31支川
2 事業概要 (1) 位置：豊田市鶉ヶ瀬町地内 (2) 規模・内容：砂防えん堤 2基 (3) 事業期間：平成20年度～24年度 (4) 事業費：250百万円	
3 必要性 巴川第31支川は、豊田市に位置し、保全対象として第2次緊急輸送路である国道301号と人家9戸を抱える土石流危険溪流であります。流域の荒廃状況は著しく、早急に土石流対策えん堤を整備し、人家等の保全および年間375万台の交通の安全を確保する必要があります。	
4 事業効果 (費用対効果分析のある場合) (1) 評価期間：事業着手から事業完了後50年間 (2) 基準年度：平成19年度 (3) 基準年における総費用 (C)：231百万円 (4) 基準年における総便益 (B)：552百万円 (5) 便益の内訳：一般資産、公共土木施設等 (6) 費用対効果 (B/C)：2.39 (7) その他	
5 事業をめぐる社会情勢 近年、局所的な大雨による土石流の発生が多くみられるようになり、地元の事業に対する期待度は高いものがあります。	
6 その他特記事項	